

## 9月5日 全校朝会の話 「知りたい・調べたい」

先週は5年生が水泳大会に参加し、見事な泳ぎを見せてくれました。特にリレーでは男女ともに優勝することができ、大いに盛り上がりを見せる大会となりました。5年生の皆さんごくろうさまでした。皆さんの頑張りにとても心が熱くなりました。これからはこの大会で得た充実感をぜひ学校生活に向け、6年生を支え、西葛西小学校のリーダーとしての力を発揮してもらいたいと思っています。また、昨日は区民水泳大会がスポーツセンターで行われ、西葛西小学校からも4名が参加をし、それぞれが頑張っていました。スポーツでなくても構いませんが、自分のもてる力を試す機会を一人一人がもってくれることを期待しています。

さて、各学年の教室の前には様々な工夫を加えた夏休みの作品が展示されています。それぞれをよく見ていくとその人らしさが見られる作品が多くあります。中でも素晴らしいなと思う作品に共通していることは「自分が知りたい」と思ったことに対して「予想をする。」「解決方法を考える。」「実験方法を考える。」「実験の記録を正確にとる。」「結果から分かったことをまとめる。」という流れがしっかりとできていることです。まずは「知りたい・調べたい。」という強い思いをもつことがどんなことでも大きな力になります。しかし、それだけでは物事は解決しません。その「なぜだろう?」という気持ちを「考える力」に結びつけていくことが大切です。

私は子供のころ、自分で不思議だなと思ったことは、自分なりに学校で勉強したことを生かしながら工夫して実験をしてみるものが好きでした。道端で一生懸命に動いているありを見ながら、一体このありはどこまでこんな大きなえさを運ぶのだろう?巣の中ではどんな生活をしているのだろう?と思い、ガラスの瓶に土を入れ、ありを何匹か捕まえてきてその様子を見てみようとしたことがあります。結果はあまりうまくいきませんでした。失敗から学ぶこともありました。また、当時ブレーキランプが赤くつくかっこいい自転車がありました。私も母親に「あの自転車を買ってほしい。」とねだりましたが、買ってもらえるはずもなく、「だったら自分で作ってみよう!」と考え、理科の勉強で学習した豆電球と電気回路のことをよく思い出しながら、お小遣いでほんの少しの材料を買い、台所から多くの材料をかき集め自作のブレーキランプを開発しました。今思い出すとあまりかっこうはよくありませんでしたが、自分なりに工夫して改造した自転車は小学生の私にとっては大満足の一つでした。詳しいこと知りたい人はぜひ校長室を訪ねてください。お話を聞かせてあげます。

まだ、夏休みの作品展をよく見ていない人は、友達の作品をよく見てみましょう。きっと新しい発見が何か見つかると思っています。